
相山女学園大学教育学部 研究および社会活動2015年1月～2015年12月

石橋尚子（教授，附属幼稚園長）

報告書

- 1) 平成26年度「ケースメソッドⅠ」授業実践報告書 子どもと自然といのちを考える―交換の仕組みを感じる・味わう・考える―，全80頁，2015年3月。

学会発表：シンポジウム

- 1) 小笠原弘・渡部千美江・石橋尚子 ウンチから考える地球1個分の暮らし―育てて食べる現場からの実践報告―，実行委員会企画シンポジウム「生命観を軸とした保育のパラダイム」実践報告，日本保育学会第68回大会（相山女学園大学），2015年5月。

社会活動

- 1) 社会福祉法人名南子どもの家 理事
- 2) 社会福祉法人あすなろ福祉会 監査
- 3) 社会福祉法人名古屋キリスト教社会館 評議員
- 4) NPO 法人はっくるべりーじゃむ 理事
- 5) 名古屋市つどいの広場補助金交付団体選定委員会 委員
- 6) 名古屋市子育て支援拠点選定委員会 委員
- 7) 名古屋市新規事業所向け各種ガイドライン研修会（2015年4月）講師
- 8) 尾張旭市教育委員会生涯学習課「思春期家庭教育学級」（2015年6月）講師
- 9) 愛知サマーセミナー2015（2015年7月）講師
- 10) 弥富市公立保育所保育実践研修会（2015年7月）講師
- 11) 刈谷市臨時保育職員研修会（2015年9月）講師

磯部錦司（教授）

著書

- 1) 磯部錦司・福田泰雅：『保育のなかのアート―プロジェクト・アプローチの実践から―』，全160頁，小学館，2015年3月。

論文

- 2) 磯部錦司・森文乃：「プロジェクト・アプローチの背景とその表現考―アートによる意味生成のプロセス―“自然/生命観”：事例 Globe Wilkins Preschool―」，『相山女学園大学教育学部紀要』，Vol. 8，2015年3月，pp. 25-46。

作品発表

- 1) “The International Art Workshop in Gludsted”，Gludsted（デンマーク），2015年7月。

その他

- 1) 「対談：アートと保育―その意味を捉え直す」，『げんき』，エイデル研究所，pp. 2-18，1 社会的活動。

講演等

- 1) 講演「子どもとアート―生活から生まれる新しい造形活動―」，金沢市，金沢市教育プラザ（金沢），2015年6月。
- 2) 講演「保育のなかのアート“閉じない学び，私の物語とアイデンティティ”」，子ども美術文化研究会，CCAA アートプラザ（東京），2015年11月。
- 3) シンポジウム「アートな生活としての保育を考える：子どもを实践の始点に」，『第58回全国私立保育園研究大会』，全国私立保育園連盟，とりぎん文化会館（鳥取），2015年6月。
- 4) シンポジウム「保育をデザインする」，『新しい保育を創造する会』新しい保育を創造する研究会，鹿児島ホテルグリーンヒル（鹿児島），2015年11月。
- 5) 『全国造形教育連盟・日本教育美術連盟合同研究大会』，助言者，岐阜市立中央中学校，岐阜市立岐阜東幼稚園，2015年11月。

学会活動等

- 1) 全国美術造形教育教員養成協議会 会長
- 2) 大学美術教育学会 理事
- 3) 日本保育学会第68回大会 事務局長
- 4) 学校法人由田学園 理事
- 5) 名古屋市白鳥小学校 評議員
- 6) 赤碓保育園 評議員

宇土泰寛（教授、学部長）

論文

- 1) 宇土泰寛（2015）：匿名性による学びを越える新たな学びのステージとしての大陸間教育へ向けてーグローバルイシューの問題解決の学習を通してー、*椋山女学園大学教育学部紀要*，8：131-139，2015年3月。

著書

- 1) 『国際理解教育ハンドブック』（共著）日本国際理解教育学会編著 明石書店，「IV 国際理解教育の実践 1 実践の展望 学校経営に生きる国際理解教育」，全260 本人担当部分 pp. 130-135，2015年6月。

学会発表

- 1) 異文化間教育学会第36回大会，2015年6月7日，千葉大学教育学部，「世界の日本人学校をつなぐグローバルプロジェクトに向けてーグローバルイシューの問題解決学習を通してー」
- 2) 日本国際理解教育学会 第25回研究大会，2015年6月14日，中央大学，「グローバルな視点から生まれる大陸間教育活動のための現地調査ータンザニアの事例を中心にー」
- 3) 日本国際理解教育学会 第25回研究大会，2015年6月14日，中央大学特定課題「国際理解教育における実践研究のモデルを探る」コメンテーター

社会活動

- 1) 椋山女学園大学持続可能な UR 団地構築ユニットと UR 都市機構の連携，団地@星が丘子育て講演会：「これからの日本の教育と地域との協働」，2015年1月11日
- 2) 東京都行政書士会研修センターADR 専門「外国人分野」研修会講師：「グローバル社会を生きる子どもたちと多文化共生教育」，2015年3月8日
- 3) 三重県海外子女教育国際理解教育研究協議会第7回研究大会：「グローバルイシューの問題解決学習でつなぐ三重と世界の日本人学校」，2015年6月27日
- 4) 愛知サマーセミナー（第27回）：「地球時代の生き方を探ろうー多文化社会の進展と共生ー」講師，2015年7月19日
- 5) 豊橋市教員研修会 11年目研修・免許更新研修：「大陸を越えて学び合う子どもたちと地球時代の学校づくりー外国人児童生徒との多文化共生をめざして」，2015年8月5日

学会・その他

- 1) 異文化間教育学会 紀要編集委員会委員
- 2) 日本国際理解教育学会 理事 研究・実践委員会委員
- 3) 全国海外子女教育国際理解教育研究協議会 副会長
- 4) 愛知県海外子女教育国際理解教育研究協議会 顧問

大森隆子（教授、椋山女学園中学校・高等学校 校長）

論文

- 1) 甲斐仁子・大森隆子：「バード・ブランケンブルクとフレーベル教育の源流」（椋山女学園大学教育学部紀要 vol. 8所収）

資料

- 1) 大森隆子：「折り紙のルーツを訪ねるドイツの旅(2)」（椋山女学園大学教育学部紀要 vol. 8 所収）

社会活動

- 1) 扶桑町保育所保育士研修講師（平成27年1月15日）、「発達をおさえた遊び」（扶桑町立柏森南保育園）
- 2) 平成26年度愛知県保育研究集会の講評（平成27年2月21日）,（名古屋国際会議場イベントホール）
- 3) 日本保育学会第68回大会実行委員長
- 4) 一般社団法人日本保育学会会長推薦評議員
- 5) 豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議委員（委員長）
- 6) 豊田市保健福祉審議会委員
- 7) 豊田市幼保連携型認定こども園審議会委員

学会発表・シンポジウム等

- 1) 日本保育学会第68回大会実行委員会企画シンポジウム1「倉橋惣三の幼児教育思想の理解・継承と創造的实践」2015年5月9日, 企画コーディネーター: 大森隆子, 司会/記録: オムリ慶子, 講演: 湯川嘉津美, 実践報告: 伊集院理子, 実践報告: 鈴木まき子

その他

- 1) 糸菊2014, 「折り紙研究」雑考, 2015年2月28日発行

河野庸介（教授, 附属小学校 校長）

講演

- 1) 国立青少年教育振興機構主催フォーラム: 「子どもの読書活動推進フォーラム」, コーディネーター, 平成27年4月.
- 2) 朝日新聞社主催シンポジウム: 「将来のグローバル人材をどう育てるか」, シンポジスト, 平成27年7月.
- 3) 福井県教育庁嶺南教育事務所主催教員研修会: 講演「全国学調から見える国語科教育のねらいと課題」, 平成27年8月.
- 4) 福井県教育庁嶺南教育事務所主催教員研修会: 講演「福井県における課題とその克服に向けて」, 平成27年8月.
- 5) 第20回新しい国語実践の研究会滋賀大会シンポジウム: 「主体的な言語活動を通じて学び合う国語教室の創造」, シンポジスト, 平成27年12月.

社会活動

- 1) 国語教育実践改革会議, 副代表

國井修一（教授）

講演

- 1) 名古屋健康カレッジ（名古屋市と椋山女学園大学との連携講座）: 「健康を科学する」第2回「健康と運動」担当, 平成27年10月.

社会活動

- 1) 日本教育医学学会, 理事

酒井照彦（教授）

論文

- 1) 坂本徳弥・酒井照彦（2015）基礎的な授業技術習得のための示範授業ビデオの制作. 椋山女学園大学研究論集（社会科学篇）46, 197-208.

学会発表

- 1) 坂本徳弥・酒井照彦・福岡なをみ（2015）「模擬授業演習における示範授業ビデオの制作(1)」, 日本教育情報学会第31回年会, 茨城大学, 2015年8月29日~30日, 水戸. 日本教育情報学会年会論文集31, 72-75.

社会活動

- 1) 学校評議員として各学校の評議員会に参加し, 学校経営についての指導助言を行った。名古屋市立東星中学校, 名古屋市立東山小学校, 名古屋市立星ヶ丘小学校, 名古屋市立葵小学校, 名古屋市立大野木小学校

坂本徳弥（教授）

論文

- 1) 坂本徳弥・酒井照彦（2015）基礎的な授業技術習得のための示範授業ビデオの制作. 椋山女学園大学研究論集（社会科学篇）46, 197-208.

報告書

- 1) 坂本徳弥（2015）2014年度東海・北陸私教懇第2回定例研究会記録, 東海北陸教師教育研究29, 45-59.

学会発表

- 1) 坂本徳弥・酒井照彦・福岡なをみ（2015）模擬授業演習における示範授業ビデオの制作(1), 日本教育情報学会第31回年会, 茨城大学, 2015年8月29日～30日, 水戸. 論文掲載：日本教育情報学会年会論文集31, 72-75.

社会活動

- 1) 教員免許状更新講習（講師）2015年8月, 講座名：子どもの生活の変化と学級経営
- 2) 名古屋市立植田東小学校, 学校評議員
- 3) 名古屋市立西養護学校, 学校評議員
- 4) 東海・北陸地区私立大学教職課程研究連絡懇談会世話人
- 5) 大子町立大子中学校第3回校内授業研究会講師2015年11月
- 6) 常陸太田市立里美小・中学校との共同研究（ICT活用）
- 7) 日立市立河原子中学校との共同研究（ICT活用）

佐藤厚子（教授）

論文

- 1) 佐藤厚子（2015）『禁秘抄』の研究(8), 椋山女学園大学研究論集（人文科学篇）, 46, pp. 13-26.

浪川幸彦（教授, 教育学研究科長）

学会発表

- 1) 浪川幸彦：数理学教育のための教員養成カリキュラム, 教員養成数学教育研究会, 南九州大学, 2015年2月15日

寄稿

- 1) 浪川幸彦：「集合」から「図形」へ, 学校数学から見える数学の風景(1), 「数学セミナー」（日本評論社）, Vol. 54, No. 1, 2015, 56-59
- 2) 浪川幸彦：数学教育の向上を目指して, 学校数学から見える数学の風景(2), 「数学セミナー」（日本評論社）, Vol. 54, No. 3, 2015, 66-69
- 3) 浪川幸彦：追記：台形の双対, 学校数学から見える数学の風景(3), 「数学セミナー」（日本評論社）, Vol. 54, No. 6, 2015, 60-61
- 4) 浪川幸彦：佐武コンパクト化, 「数学セミナー」（日本評論社）, Vol. 54, No. 12, 2015, 28-30

社会活動

- 1) 愛知サマーセミナー（第27回）講師, 2015年7月18日
- 2) 愛知県教育委員会教育センター主催, 教員10年研修講師（高校数学）講師, 2015年8月3日
- 3) 椋山女学園大学教員免許状更新講習講座講師, 2015年8月4日
- 4) 神奈川大学教員免許状更新講習講座講師, 2015年8月5日

宮川充司（教授）

論文

- 1) 宮川充司（2015）熊野観心十界曼荼羅とそのルーツ(XI) —宝幢院本地蔵十王図, 老いの坂・両婦地獄・釘念仏のルーツ—. 椋山女学園大学研究論集, 第46号（人文科学篇）, 121-131.
- 2) 宮川充司（2015）DSM-5による反社会性パーソナリティ障害・素行障害とサイコパス. 椋山女学園大学教育学部紀要, Vol. 8, 47-58.

学会発表

- 1) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会2015年第35回研究大会, 第10分科会企画・司会・発表, 2015年5月31日仙台大学第10分科会「教員養成系学部学科における教員養成と課題—幼稚園・小学校教諭と複数学校種免許状の取得と養成—」③相山女学園大学教育学部の実践と課題」.
- 2) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会2015年度教職課程運営に関する研究交流集会準備委員及びシンポジウム「今後の教員養成政策と私立大学教職課程の課題」企画・司会, 2015年11月7日金城学院大学.

社会活動

- 1) 公益法人日本心理学会専門別代議員 (第2部門: 発達・教育) (2015年3月再選)
- 2) 日本臨床発達心理士会東海支部長 (2013年6月～2015年6月)
- 3) 東海・北陸地区私立大学教職課程研究連絡懇談会代表世話人 (2012年5月～現在)
- 4) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会理事 (2012年5月～現在)
- 5) 日本学校心理士会年報査読協力者 (2015年4月～現在)
- 6) 日本質の心理学会選挙管理委員長 (2015年10月～2016年2月)

早川操 (教授)

論文

- 1) 早川操「デュイの『思考の方法』に見る実験主義的創造力の展開」, 『日本デュイ学会紀要』, 第55号, 2014年10月, 41-50頁.

著書

- 1) 早川操「流動化する社会と教育—転移力・汎用力を身につける—」, 10-23頁, 早川操・伊藤彰浩 (編著) 『教育と学びの原理 変動する社会と向き合うために』, 名古屋大学出版会, 2015年7月.

学会発表

- 1) 早川操「汎用的技能の育成とわが国の大学教育の行方—「学士力」育成の背後にある教育観とその課題—」, 教育哲学会, 「課題研究 教育哲学の「現場」としての高等教育」, 奈良女子大学, 10月11日.

図書紹介

- 1) 松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター編著「ディープ・アクティブラーニング—大学授業を深化させるために—」, 『教育学研究』, 第82巻第4号, 2015年12月, 612頁.

社会活動

- 1) 日本学術会議・連携会員
- 2) IDE 大学協会東海支部・理事
- 3) 一般財団法人名古屋大学出版会・評議員
- 4) 日本デュイ学会・会長
- 5) 教育哲学会・理事

深谷和義 (教授)

論文

- 1) 深谷和義: “愛知県立高等学校における職名別での教員配置の現状”, 相山女学園大学研究論集 (社会科学篇), vol. 46, pp. 209-218, 2015
- 2) 深谷和義: “東海地方の自治体における小中学校教員の人事異動の傾向”, 相山女学園大学教育学部紀要, vol. 8, pp. 207-216, 2015
- 3) 深谷和義: “学習指導要領改訂後の共通教科及び専門教科情報科の実施状況—愛知県立高等学校における現状—”, 愛知淑徳大学教志会研究年報, vol. 1, pp. 153-162, 2015
- 4) 深谷和義: “共通教科情報科の開講科目決定に影響を及ぼす要因—愛知県立高等学校における現状分析—”, 日本情報科教育学会誌, vol. 8, no. 1, pp. 81-87, 2015 (査読付)

学会発表

- 1) 大橋奈美, 深谷和義: “小学校でのロボット制御授業のための教育学部生向け授業実践”, 2014年度教育システム情報学会学生研究発表会, pp. 41-42, 2015

-
- 2) 深谷和義：“新旧学習指導要領での愛知県立高等学校における専門教科情報科の実施状況”，日本情報科教育学会第4回研究会，vol. 4，pp. 6-9，2015
 - 3) 深谷和義：“愛知県立高等学校における共通教科情報科の開講科目を決める要因”，日本情報科教育学会第8回全国大会，pp. 65-66，2015
 - 4) 深谷和義：“高等学校普通科・総合学科における専門教科の実施状況—専門教科情報科の状況を中心に—”，第40回教育システム情報学会全国大会，pp. 147-148，2015
 - 5) 深谷和義：“専門科目による共通教科情報科の科目代替の現状—学習指導要領による分析を中心に—”，日本情報科教育学会第5回研究会，vol. 5，pp. 11-14，2015

社会活動

- 1) 椋山女学園大学2015年度 教員免許状更新講習，講座A「情報セキュリティなど近年の状況を踏まえた内容（2時間）」講師，2015年8月3日

宮田俊雄（教授）

演奏会

- 1) 新春コンサート シューベルト：ピアノソナタ第19番 D.958（独奏），モーツァルト：ピアノトリオ第3番 K.502（共演），宮田俊雄（ピアノ），宗川理嘉（ヴァイオリン），・小縣歩（チェロ），2015年1月4日スタジオ・ハル（名古屋）.
- 2) サマーコンサート シューベルト：即興曲集作品142，ベルク：ピアノソナタ 作品1（独奏），ドビュッシー：ピアノトリオ ト長調（共演），宮田俊雄（ピアノ），宗川理嘉（ヴァイオリン），小縣歩（チェロ），2015年7月11日スタジオ・ハル（名古屋）.

社会活動

- 1) 2015年度第69回全日本学生音楽コンクール審査員，予選9月5～6日，本選10月24日，ガスホール（名古屋）.

山田真紀（教授）

論文

- 1) 山田真紀（2015）椋山女学園大学教育学部のボランティア支援科目の実際，東海北陸教師教育研，第29号，pp. 15-26.
- 2) 山田真紀・森文乃（2015）オーストラリアの小学校における図画工作の授業の実態と課題—シドニー市の公立小学校での参与観察から—，椋山女学園大学論集，第46号（社会科学篇），pp. 219-236.
- 3) 山田真紀（2015）オーストラリアと日本の小学校音楽科の比較研究 その2—音楽の授業の比較から—，椋山女学園大学教育学部紀要，第8号，pp. 71-86.
- 4) 山本朱莉・山田真紀（2015）オーストラリアと日本の小学校音楽科の比較研究 その1—学習指導要領の比較から—，椋山女学園大学教育学部紀要，第8号，pp. 59-70.
- 5) 野田舞・山田真紀（2015）保育環境の安全基準に関する日豪比較—園庭の環境づくりに焦点をあてて—，椋山女学園大学教育学部紀要，第8号，pp. 109-130.
- 6) 森文乃・山田真紀（2015）造形領域における日本とオーストラリアの学習指導要領の比較—幼児期と学童期に着目して—，椋山女学園大学教育学部紀要，第8号，pp. 141-158.

社会活動

- 1) 平成27年度滋賀県米原市立大東中学校 校内研修会講師，指導助言：「平成27年度の研究の方向性について」（平成27年6月1日），講演：「道徳の授業を通した自尊感情の育成」（平成27年10月26日），指導助言：「研究の進捗状況と今後の課題について」（平成27年11月27日）
- 2) 平成27年度滋賀県長浜市立鏡岡中学校 校内研修会講師，講演：「合意形成を図るための全員参加型の効果的な話し合い活動の進め方について」（平成27年10月28日）
- 3) 平成27年度，名古屋市立大杉小学校，学校評議員
- 4) オセアニア教育学会，紀要編集委員
- 5) 日本特別活動学会，研究推進委員，紀要編集委員

小杉裕子（准教授）

演奏会

- 1) An die Musik 梶山女学園大学教育学部卒業生と教員によるコンサート、ラフマニノフ作曲前奏曲集 Op. 23 より第 5 番, 第 10 番, 2015 年 12 月.

学会発表

- 1) 加藤道子・小杉裕子・想厨子伸子・村岡眞澄・脇田町子：保育実践力の育成・向上に関する研究(7)―保育職継続に関する要因―. 日本保育学会第 68 回大会 2015 年 5 月, 梶山女学園大学, 名古屋.

社会活動

名古屋市教育スポーツ協会評議員, 日本保育学会第 68 回大会運営委員, 名古屋市立守山東中学校合唱部（音楽指導）

白井朗（准教授）

論文

- 1) Shirai, Akira (2015): Maillet type theorem for singular first order nonlinear partial differential equations of totally characteristic type. Part II, *Opuscula Mathematica*, vol. 35, no. 5, pp. 689–712

社会活動

- 1) 梶山女学園大学 2015 年度 教員免許状更新講習, 選択講座 4 「現代数学から見る学校数学」講師（75 分担当）, 2015 年 8 月 4 日

野崎健太郎（准教授）

論文

- 1) Nozaki, K. (2015): Zygospor formation of a *Spirogyra variformis* TRANSEAU (Zygnemataceae) collected from an irrigation canal of rice fields at Mikkabi, Hamamatsu, Japan. *Rikunomizu (Limnology in Tokai Region of Japan)*, **70**: 19–24.
- 2) 野崎健太郎 (2015): 静岡県浜松市三ヶ日町尾奈で採集された糸状藻アオミドロ属（接合藻）の接合を誘引する要因の解析. 梶山女学園大学研究論集（自然科学篇）, **46**: 21–29.
- 3) 野崎健太郎 (2015): 糸状藻アオミドロ属（ホシミドロ科 Zygnemataceae, *Spirogyra* 属）の接合過程を教材とした有性生殖の学び―小学校教員養成課程における学び―. 梶山女学園大学教育学部紀要, **8**: 159–167.
- 4) Fukuda, T., Nozaki, K. and Yamada, Y. (2015): Contribution of phytoplankton to river organic pollution in a basin with scarce water resource. *Ecology and Civil Engineering*, **17**: 89–99.
- 5) 山本彩莉・野崎健太郎 (2015): 木曽川上流域（長野県木曽町）におけるスナック菓子とセル瓶を用いたコイ科魚類アブラハヤ（*Rhynchocypris logowskii steindachmeri*）の採集：自然体験学習の教材としての予備的研究. 陸の水, **70**: 35–39.
- 6) 塚本真弓・野崎健太郎 (2015): 白水湖（大白川ダム, 岐阜県大野郡白川村）の湖水がエメラルドグリーンに見える要因の解析事例―湖の水色を科学教材として活用するために. 梶山女学園大学教育学部紀要, **8**: 245–250.

著書

- 1) 琵琶湖と環境―未来につなぐ自然と人との共生, 琵琶湖と環境編集委員会（編）, 第 6 章 3 琵琶湖の危険信号, pp. 284–286 を執筆, サンライズ出版, 彦根.

学会発表

- 1) 野崎健太郎 (2015): アオミドロ（*Spirogyra*）の接合を誘発する要因としての窒素欠乏への疑問―静岡県浜松市尾奈で採集された *Spirogyra valiformis* TRANSEAU の事例―. 日本陸水学会東海支部会第 17 回研究発表会, 東海大学社会教育センター三保研修館, 2015 年 2 月 21 日～22 日, 清水.
- 2) 野崎健太郎 (2015): アオミドロ属 *Spirogyra variformis* TRANSEAU の春季の消長. 日本陸水学会第 80 回大会, 北海道大学水産学部, 2015 年 9 月 26 日～29 日, 函館.
- 3) 野崎健太郎 (2015) 知的障害児の保護者との対話によるインクルーシブ教育の学び. 日本保育学会第 68 回大会, 梶山女学園大学, 2015 年 5 月 9 日, 名古屋.

服部次郎（准教授）

論文

- 1) 服部次郎（2015）：保育者・教師養成課程における初年次教育としての施設（学校）見学を充実させる事前学習の実践のその後の専門教科への影響について—学生の主体的学びの促進を目指した授業での試み—
椋山女学園大学教育学部紀要, Vol. 8, pp. 179-192

社会活動

- 1) 6月22日：愛知県障害児（者）地域療育等支援事業（豊川市立平尾小学校にて）地域小学校教員・保育士・幼稚園教諭に対して講話、「新しい環境で問題行動を示す子どもへの支援と工夫」
- 2) 6月29日：愛知県障害児（者）地域療育等支援事業（東栄町），午前：保育園の保護者への指導，午後：地域関係者（保育園保育士・保健所職員・児童家庭相談員等）への講話
- 3) 8月20日：愛知県現任保育士（中堅後期保育士）養成研修会 講師
- 4) 11月30日：講演会「子どもの発達と子育て」，美和保育園（ひよこ教室保護者）
- 5) 12月21日：愛知県障害児（者）地域療育等支援事業（東栄町），午前：保育園の保護者への指導，午後：地域関係者（小学校特別支援担当教員・保育園保育士・保健所職員・児童家庭相談員等）への講話

室雅子（准教授）

著書

- 1) 大学家庭科教育研究会編著：『市民社会をひらく家庭科』，共著，第Ⅲ部 第1章「家庭科教員 の力量形成の課題（担当分単著）」，pp. 146-159，ドメス出版，2015年6月

論文

- 1) 吉本敏子・小川裕子・星野洋美・室雅子・安場規子・吉岡良江・吉原崇恵（2015）：生活場面で実践できる力の実態と課題—消費生活・環境学習との関連，三重大学教育学部研究紀要（自然科学・人文科学・社会科学・教育科学），66号，pp. 227-233

文献紹介

- 1) 室雅子（2015）：岩上真珠編『国際比較 若者のキャリア 日本・韓国・イタリア・カナダの雇用・ジェンダー・政策—その展望と課題—』，単著，家族社会学研究，第27巻第2号，p. 169
- 2) 室雅子（2015）：長津美代子・小沢千穂子編著『新しい家族関係学』，単著，家族関係学，第34巻，p. 52

学会発表

- 1) Muro, Masako: “Conditions required for the continuous employment of female school and nursery teachers in Japan” (2015), 18th Biennial International Congress of ARAHE (Asian Regional Association for Home Economics) アジア家政学会 第18回大会，香港
- 2) 室雅子，他5名（2015）：生活場面で実践できる力の調査—衣生活—，共同，日本家庭科教育学会第58回大会，鳴門教育大学
- 3) 小川裕子，室雅子他4名（2015）：生活場面で実践できる力の調査—住生活—，共同，日本家庭科教育学会第58回大会，鳴門教育大学
- 4) 吉本敏子，室雅子他4名（2015）：生活場面で実践できる力—家族・家庭生活—，共同，日本家庭科教育学会第58回大会，鳴門教育大学
- 5) 吉本敏子，室雅子他4名（2015）：生活場面で実践できる力の実態と課題（吉本敏子代表：日本家庭科教育学会東海地区会研究プロジェクト報告），共同，日本家庭科教育学会東海支部総会・研究会，岐阜女子大学

社会活動

- 1) 日本家政学会中部支部第60回大会「食物・健康・被服・環境・教育」分科会座長，椋山女学園大学，2015.9.5
- 2) 日本家政学会家族関係学部会第35回家族関係学セミナー公開シンポジウム「若者の自立支援—家族関係学が貢献できること—」，コーディネーター・司会，ウィルあいち，2015.10.10.
- 3) 日本家政学会中部支部第60回大会実行委員（2014.9～2015.9）
- 4) 日本家政学会家族関係学部会第35回家族関係学セミナー実行委員（2014.11～2015.10）

渡邊康 (准教授)

作曲

- 1) ミュージカル「ピック・マーメイド」4月2～5日 (小劇場 PICO).
- 2) ミュージカル「不思議の国のピーターパン」8月27, 28日 (東文化小劇場).
- 3) バレエとミュージカル「王様の耳はロバの耳」12月5, 6日 (小劇場 PICO).
- 4) 愛知県立名古屋西高等学校創立100周年記念事業・名古屋西高等学校校歌編曲 (演奏は名古屋フィルハーモニー交響楽団).

音楽評・記事

- 1) 音楽之友社発行「音楽の友」, コンサートレビュー記事, 2015年2月号～11月号, 計22本掲載.
- 2) 音楽之友社「音楽の友」, 2015年2月号, 地方各地の音楽状況2014年中部.
- 3) 中日新聞, 4月22日7面, 「評クラシック」, トヨタ・マスタース・プレイヤーズ演奏会.
- 4) 朝日新聞, 5月10日, 6月28日, 10月11日, 12月27日, 日曜版C2, 「百聞より一見」.
- 5) 朝日新聞, 11月24日, 17面「+C あふれる魅力ざっくざく」.
- 6) 名古屋フィルハーモニー交響楽団第430回定期演奏会, 2015年12月11日, 12月12日, プログラム「名古屋フィル定期批評」.
- 7) 名古屋文化振興事業団編集発行「なごや文化情報」, 7・8月号, 「視点・サロンの演奏会のあり方」.
- 8) 名古屋文化振興事業団編集発行「なごや文化情報」, 11・12月号, 「ピックアップ・名古屋を彩る高校吹奏楽部」.

プログラムノート

- 1) 「上田麻里江ピアノ・リサイタル」, 2015年2月19日 (ザ・コンサートホール).

指揮・プレトーク

- 1) 椋山ウインドオーケストラ第3回定期演奏会・指揮, 2015年3月7日 (天白文化小劇場).
- 2) 椋山女学園大学入学式・椋山ウインドオーケストラ指揮, 2015年4月3日 (名古屋国際会議場センチュリーホール).
- 3) 名古屋フランス音楽研究会第27回公演・プレトーク, 2015年5月15日 (ザ・コンサートホール).

兼平佳枝 (講師)

論文

- 1) 兼平佳枝 (2015) 鑑賞授業における意味の共有の特性―「音楽批評文づくり」にみる比喩的表現の機能に着目して―. 学校音楽教育研究, pp. 51-61
- 2) 兼平佳枝 (2015) 音楽科授業における比喩的表現による意味共有に関する教育実践学的研究, 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科提出博士論文, 9月24日兵庫教育大学より博士 (学校教育学) を授与される。

著書

- 1) 『シリーズ・新時代の学びを創る第6巻音楽科授業の理論と実践』(2015) あいり出版, 「第1部 音楽科教育の現代的意義と課題」より, (1)「第2章第4節 音楽科教育の現代的課題」pp. 34-39, (2)「第6章第4節 鑑賞の評価のための作品『批評文』」pp. 119-128, 「第3部 音楽科教育の新しい実践事例」より, (3)「第8章第4節 実践事例(3)中学校 (歌唱)《旅立ちの日に》」pp. 175-186, (4)「第9章第3節実践事例(2)中学校 (鑑賞)《鹿の遠音》」pp. 221-228

学会発表

- 1) 兼平佳枝 (2015) フォーラム・コーディネーター「学力と評価」【批評文】日本学校音楽教育実践学会第20回全国大会, 2015年8月13-14日, 大阪成蹊大学, 大阪市

社会活動

- 1) 椋山女学園大学教員免許状更新講習講座講師, 2015年7月25日
- 2) 日本学校音楽教育実践学会事務局長 (2012年4月～現在に至る)

清葉子（講師）

論文

- 1) 杉江栄子・清葉子・脇田町子・加藤道子（2015）保育実践力の育成・向上に関する研究—実習の意欲を高める指導—, 愛知教育大学幼児教育講座「幼児教育研究」, 第18号.

著書

- 1) 保育職論（共著）第6章 保育職と自己評価・第三者評価, pp. 85-95を担当, 2015年3月, 建帛社.

学会発表

- 1) 杉江栄子・清葉子・脇田町子（2015）保育実践力の育成・向上に関する研究(8)—実習の意欲を高める指導—, 日本保育学会第68回大会, 2015年5月, 相山女学園大学, 名古屋.

社会活動

- 1) 講座：尾張旭市子育て支援センター, すくすく子育て講座「0～1歳頃の育ちとあそび」, 2015年5月15日, 7月27日, 11月30日.
- 2) 親子遊び：名古屋市太子学区, 太子子育てひろば, 2015年12月4日.

高橋聡（講師）

著書

- 1) 「算数・数学科教育」（共著, 一藝社）. 藤井斉亮編著, 清水美憲, 高橋聡他28名. 「新・教職シリーズ教科教育編」第3巻, 第3部「数学科教育の理論と実際」, 第13章「資料の活用」, 第3節「統計的確率と数学的確率」, pp. 243-249.

学会年次報告

- 1) 高橋聡（2015）第97回全国算数・数学教育研究（北海道）大会基調発表（報告）；1. 教育課程. 日本数学教育学会誌, 97(3), 25-28.

社会活動

- 1) 公益社団法人日本数学教育学会：教育課程委員会委員, 研究部高等学校部会幹事, 数学意識調査委員会委員, 創立百周年記念事業募金委員会副委員長.
- 2) 相山女学園大学附属小学校, 平成27年度校内教員研修会指導助言者.
- 3) 岐阜聖徳学園大学, 平成27年度算数・数学科合宿授業研究会（同大学教育学部・附属小学校算数部）, 指導助言者. 2015年8月27・28日.
- 4) 日本数学教育学会第48回秋期研究大会：座長. 2015年11月7・8日, 信州大学.
- 5) 第70回関東都県算数・数学教育研究（栃木）大会, 高等学校部会数学Ⅲ分科会指導助言者. 2015年11月13日, 栃木県立宇都宮高等学校.

朴信永（講師）

論文

- 1) 松井剛太・越中康治・朴信永・若林紀乃・鍛冶礼子・八島美菜子・山崎晃（2015）保育者は障害児保育の経験をどのように意味づけているのか. 保育学研究, 53(1), 66-77.

学会発表

- 1) 若林紀乃・越中康治・朴信永・廣瀬真喜子・松井剛太・八島美菜子・山崎晃（2015）障がい児の充実したあそびに対する保育者の認識. 日本発達心理学会第26回大会, 東京大学, 2015年3月20日.
- 2) 加藤孝士・永井知子・朴信永・寺蘭さおり・富田喜代子（2015）母親からみた近年の「親育ち」とそれにかかわる要因の予備的研究. 日本発達心理学会第26回大会, 東京大学, 2015年3月20日.
- 3) 永井知子・富田喜代子・朴信永・寺蘭さおり・加藤孝士（2015）親育ちに影響を与える要因の検討(1)—親育ちの構成要因の検討—. 日本保育学会第68回大会, 2015年5月9日.
- 4) 加藤孝士・富田喜代子・朴信永・寺蘭さおり・永井知子（2015）親育ちに影響を与える要因の検討(2)—属性に注目して—. 日本保育学会第68回大会, 2015年5月9日.

社会活動

- 1) 愛知県実習連絡協議会保育所実習専門委員会委員. 2013年11月～2015年11月.

-
- 2) 学校法人曾野学園曾野幼稚園・曾野第二幼稚園の保育者研修の講師 2014年4月～現在に至る.
 - 3) 日本保育学会第68回大会実行委員会運営委員2014年5月～2015年7月.
 - 4) 平成27年度全国保育士養成協議会中部ブロック第20回セミナー 保育者養成における実習指導のあり方について(第2分科会の提案者) 2015年11月27日.